

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601226
事業所名	グループホームひらばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナの感染症5類移行後は、地域行事も再開するものが多く、今年は地域の神社のお祭りに家族も一緒に出かけ、地域の人たちと交流することができた。また、レクリエーションボランティアの受け入れも開始し、利用者と楽しく交流できている。散歩時の挨拶や声掛けは、利用者の当たり前の日常として交流している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナの感染状況を見ながら、通常通りの対面会議開催に努め、この1年は6回全てを対面で開催している。大人数の参加があり、意見交換・情報交換も活発に行われている。地域からの参加も多く、地域情報の収集には事欠かない環境で、ホームが参加できることや協働できる事を話し合っている。ホーム運営に関わる意見や提案等は積極的に運営や支援内容に反映させている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	地域包括支援センターとの連携が活発で、地域高齢者問題の共有をはじめ、地域包括支援センター主催の研修や会議、「みんなの元気フェスタ」等行事のお誘い等があり、参加協力ができるものには協働している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	今年は初めて家族の満足度アンケートを実施し、家族の忌憚ない要望を把握することができた。コロナの感染症5類移行を受け、利用者家族の要望も様変わりを見せ、家族外出や外泊、家族旅行等に希望が出始めている。ホームとしても、本人と家族の要望に応えるべく、感染状況等を鑑みながら、真摯に対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

この1年は6回全て通常の対面会議で開催している。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							